



2023年  
8月25日

# 土壤医の会 通信 第14号

- ・優良土づくり表彰募集開始
- ・土壤医♥活躍中：岩館康哉さん
- ・事業体土壤医の会ご紹介コーナー  
「日本肥糧土壤医の会」さん
- ・地域土壤医の会活動助成について
- ・「土壤医ラジオ」始めました  
両総土壤医の会会長：長谷川さん
- ・2023年度土壤医検定

## 「優良土づくり推進活動表彰」対象の事例募集開始！

今年度も皆様の日々の取組みを奨励する「優良土づくり推進活動表彰」対象の事例を募集します。応募者の皆様全員にCPDポイントが付与されますので、奮ってご応募ください。

【募集期間】2023年8月25日～10月20日

【募集内容】

- ・個人部門  
土壤診断に基づく作物生育改善・土づくり普及活動
- ・土壤医の会部門  
土壤医の会としての作物生育改善などの取組み  
地域への土づくり普及に貢献する取組み

【表彰式（土壤医の会全国交流大会）】

2023年11月28日

場所：「全水道会館」

東京都文京区本郷 1丁目 4-1

【応募方法】

優良土づくり推進活動表彰に応募しようする方等は、別紙申請様式に基づいて申請してください。

\*応募に関する詳細はホームページをご参照ください。

\*\*表彰事例については、土壤協会のホームページ上で公開するとともに、土壤医の会全国交流大会等で発表するなど広く情報提供します。

### 応募しやすくなりました！

- ・作成見本を多く掲載していますので、どのような取り組みが対象となるかイメージしやすくなっています。
- ・個人部門については、土壤医検定資格登録者であれば土壤医の会に未所属でも応募頂けるようになりました。



# 土壤医♥活躍中!

## 土壤医と植物医師の「二刀流」

～植物病害虫の診断と対策に土壤分析を活かす～



岩手県農業研究センター研究員 岩館康哉さん

### 【自己紹介】

岩手県農業研究センターの研究員です。野菜と畑作物の病気に関する研究に取り組んでいます。また、病害虫防除所と連携して病害虫や生理障害の診断にも対応しています。植物の病気とくにやっかいなのは土壤病害です。土壤医を受験したきっかけの一つでもあります。土壤病害の対策を考えているなかで、植物病理学だけではなく、土壤肥料学の知識も無ければダメだと感じました。私は土壤医のほかに植物医師という資格も持っており、植物病理が専門です。土壤肥料の専門家ではないので土壤医の業界ではあまりいないタイプだと思います。

\*植物医師：植物保護に関わる専門家として認定される資格です。文部科学省所管の技術士（農業部門・植物保護）の第二次試験合格者の中から、一般社団法人日本植物医科学協会の審査を経て認定されます。

詳しくは一般社団法人日本植物医科学協会HPをご参照ください。 [http://jaclips.jp/jaclips/plant\\_doctor.html](http://jaclips.jp/jaclips/plant_doctor.html)

[植物医師について | 一般社団法人 日本植物医科学協会 \(jaclips.jp\)](#)

### 【土壤医をプラスしたことで変化した視点】

まず、病害虫や生理障害の診断にあたって、土壤分析結果があればそれを最初に見るようになりました。実際には、現場を見ずに診断依頼で持ち込まれたサンプルを頼りに判断せざるを得ない場合も多いです。そのような場合、土壤分析結果は、これが病気（伝染性病害）なのか、それ以外なのか、「あたりをつける」ための判断材料として大きな役割を果たします。また、今後の対策を考えるうえでも土壤診断結果は重要な情報を提供します。リン酸が過剰だから・・・、土壤pHが低すぎるから・・・、苦土が少なすぎるから・・・など色々な可能性を考えることができるようになりました。土壤病害の診断や防除対策を検討する場合、「土壤」と「病害」両方の知識、経験がとても重要だということを身をもって学びました。

### 【岩館さんのつぶやき = 植物病図鑑】

ツイッター(X)でつぶやく植物の病気…その画像はもはや図鑑です。ぜひのぞいてみてください。植物病理学の勉強になりますヨ。



ご寄稿いただきました。

【日本肥糧株式会社】

当社は、昭和24年設立当初より、天然腐植（木質泥炭）の機能を活用した天然腐植入り肥料（固形肥料）の普及、販売に努めております。天然腐植に吸着した肥料成分は、溶出が緩やかで持続性があるため、流亡が少なく、「環境にやさしい」のが特徴です。また、天然腐植を効果的に活用した土壤改良資材や、有用微生物を活用した資材による土壤物理性・化学性・そして微生物環境の改善による「健全な作物づくり」にも貢献してきております。

天然腐植入り

くみあい固形肥料1号



肥料成分が天然腐植に包みこまれており、肥効がマイルド！特にリン酸肥効が高く、根に優しい肥料です！



固形肥料1号に絡む果樹の細根

微生物資材 腐植質土壤改良資材

ハイフミンハイブリッドG



有用微生物と腐植の補給により根圏環境を改善！作物が健全に生育！

水溶化腐植入り土壤改良資材

ネバリリン



水溶化腐植の溶出が長期間持続！根張りと言分吸収を促進し、収量・品質向上に！

【日本肥糧土壤医の会】

2016年に日本肥糧土壤医の会を下記の目的で設立しました。

- 1) 地域に密着して施肥改善や土づくりに貢献
  - 2) 貢献を通じて我々自身もスキルをアップ
  - 3) 更に生産者と密接に関わって特徴ある当社資材を活用して健全で安心・安全な作物生産に貢献する。
- 現在の会員数は38名（1級4名、2級15名、3級14名、準会員5名）です。

これまでの主な活動として、下記に取り組んできました。

- ◆ 社内研修会開催によるスキルアップ（土壤診断の進め方、サンプリングの手法、化学性調査・物理性調査（断面調査）、資材特性に関する勉強会）
- ◆ 土壤診断に基づく施肥改善（処方箋の作成、改良対策、ユーザーからの依頼に対する診断とアドバイス）
- ◆ 当社技術の地域貢献

日本肥糧土壤医の会の活動のうち、当社技術の地域貢献に関しては、本社所在地である群馬県藤岡市の天然記念物にも指定される桜山公園における冬桜樹勢回復・新植健全生育対策に近年取り組んできています。

桜山公園は冬桜の名所で、上毛かるたにも『三波石（さんばせき）と共に名高い冬桜』と謳われています。冬桜は秋から冬と春の年2回花を咲かせ、桜山公園は11月中旬に冬桜と紅葉の競演がみられる素晴らしい名所です。

しかしながら、近年冬桜の樹勢衰退が問題になっており、当社は2019年より国指定名勝指定外の冬桜について当社が長年培った土壤診断のノウハウや当社の特徴ある商品を生かし、樹勢回復を目的とした施肥試験を実施、一定の成果を上げてきました。当社は2021年より藤岡市によって設立された冬桜樹勢回復臨時委員会にアドバイザーとして参加してきており、今回さらに重要性の高い国指定名勝・天然記念物である「桜山公園の冬桜」の樹勢回復に技術協力と肥料等の無償提供により協力することになり、2022年11月に藤岡市と協定を締結するに至りました。

これまで培った技術や特長のある製品群を生かし、これからも地域に密着して施肥改善や土づくりに貢献し健全で安心・安全な作物生産に貢献していきたいと思ひます。

また冬桜の樹勢回復を通して環境保全と地域貢献活動として地域名所の保全に取り組んでまいります。



フユザクラ



フユザクラ（冬桜、学名：Cerasus × parvifolia 'parvifolia'）は、オオシマザクラ（大島桜）とマメザクラ（豆桜）の種間雑種です。葉が小さいのでコバザクラ（小葉桜）とも呼ばれます。花は一重で、咲き始めは淡紅色で、徐々に白色になります。秋～春まで長く咲きます。萼筒が紅色で太い。江戸時代から栽培されています。「三波川の冬桜（群馬県藤岡市桜山公園）」は国の天然記念物に指定されています。

◆ご寄稿くださいました日本肥糧土壤医の会会長の小川孝行さんも、土壤医と植物医師の二刀流です。

### 地域土壤医の会活動助成について

土壤医の会全国協議会では、地域土壤医の会の以下のような活動に対する助成を行っています。今年度、既に行ったものに対しても費用の申請ができますので、ご活用ください。

- ・農業高校などでの出前研修会（講師派遣）
- ・正会員以外を主な対象として土づくり普及のために行う研修会（全国協議会との共催も含む）
- ・土壤医の会の正会員以外の方を主な対象とした土壌 pH や EC 測定等栽培相談会
- ・土づくり普及のため農業法人、農業協同組合、市町村などの関係機関に対し土壌医検定試験のパンフレット、地域土壤医の会の活動概要等の資料の配布と土づくりの重要性の PR

上記以外にも助成対象となる活動がありますので、詳細は、土壤医ネットワーク「土壤医の会全国協議会」土壤医の会等の活動に対する助成要綱 [subsidy202208.pdf \(soil-doctor.net\)](#) をご参照ください。

＊ 昨年度は、出前研修講師派遣 2 件、土壌医検定受験対策研修会 2 件、土づくり研修会 1 件、訪問による土壌医検定パンフレットの配布と説明（農業高校、JA など）2 件の申請があり、承認を経て助成金が支払われました。

# NEWS 両総土壤医の会会長が「土壤医ラジお」始めました♪♪♪

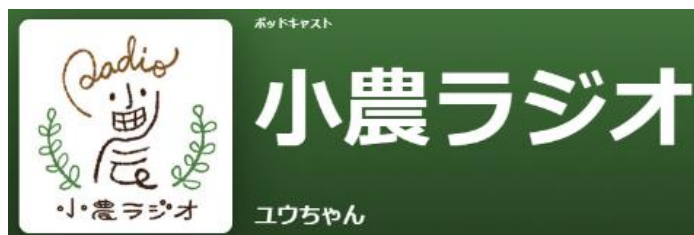


「ファーマーズサイエンス 土壤医ラジお」は、「自分の畑を、一番知っているのは自分である」と、生産者自らが言うために、土壤医の知見を応用しながら農家の科学をテーマに、お届けする番組となっております。農家の土壤医ハセが番組のお相手をさせていただきます。

<https://open.spotify.com/show/5LXU2NmTHPi0HowG330dI3?si=fAHIP6rdTGKLDcTY7fsqhw>

両総土壤医の会会長（ネギ農家）の長谷川智重さんによる、ポッドキャスト「土壤医ラジお」（つちらじ）が始まりました。8月の時点で、「自己紹介—土壤医って?」と「土壤図を使って自分の畑を調べよう」の2話が配信されています。今後取り上げて欲しいテーマ、出演希望、ご意見、感想などがありましたら、土壤医の会通信編集部でも受け付けますので、[kouno@japan-soil.net](mailto:kouno@japan-soil.net)へメールでご連絡ください。

以前ご紹介しました「小農ラジオ」のユウちゃんこと、高谷さんも、2022年度土壤医検定で見事1級を合格されました🎉🎊。こちらも土壤医によるポッドキャストです。引き続きよろしくお願ひ致します。



前号で紹介した農系ポッドキャストさんのほかにも土壤医検定受験体験のトークを見つけました。「NORA FARM RADIO」さんです。「#3 土壤医検定合格発表の瞬間!」は、聴きながらドキドキしました。受験生のナマの声が心に響き、自分が受験生だった時の気持ちと重なり合って、「みんな頑張れ!!」って叫びたくなります。受験を考えている方は、これを聴いて奮起してください。次のページに2023年度土壤医検定のお知らせを掲載しています。NORA FARM RADIOの皆さんも2級受験、3人でまた挑戦してくださいね。それにしても、ポッドキャストによる波及効果、畏るべし…です。



WEB会議（講習）、ポッドキャスト、コミュニケーションツールによる情報交換など、インターネットによる、新しい形の土づくりの輪が大きく広がっています。「土壤医ラジお」配信が始まって、ますます活発化しそうですね。長谷川会長へのリクエストや応援、よろしくお願ひ致します。

